

一、次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

科学は難しいと言う声をよく聞く。とくに女性にそう思っている方が多いように思うが、それは違う。科学は、すべての事象に原因を求め、誰もが納得できる筋道で因果関係を説明するものであり、恐らくこれは、人間にとつて最もわかりやすい考え方なのではないだろうか。何も原因がないのに事が起きたら恐いし、納得できる説明ができなければ不気味だ。ホラー小説やホラー映画を好む方は少なくないで、すべての人が因果関係をよしとすると決めつけるのは行き過ぎかもしれないが、因果関係の理解が人間の 一 の基本であることは間違いない。

子どもの頃は、私は空を飛べないのに鳥は自由に飛んでいくのは、どこかで魔法がはたらいているからだろうと思っていた。魔法使いは空を飛ぶのだから。自分なりになんとか飛べる原因を探り、絵本の中で出会った魔法使いにそれを求めたというわけである。小学校も高学年になると広げた羽を空気が押し上げる浮力の存在を知り、中学に入って力学を勉強してからは A それを説明する数式になるほどと思った。さらには、鳥と飛行機と同じところ、違うところがわかり法則が面白くなってきたのである。子どもの頃に魔法の力がとても魅力的だったのと同じように。こうして、子ども時代の魔法はだんだん数式や化学式に変わっていく、B 納得のいく世界ができ上がっていった。これが科学であり、こうして世界がわかっていく喜びは、子どもの頃のふしぎを楽しむ気持ちとつながっている。ふしぎへの気持ちを失わないためにも科学を嫌わないで欲しい。

科学を辞書で引くと「体系的であり、経験的に実証可能な知識。カキョウ義では物理学、化学、生物学などの自然科学」(広辞苑)とある。前述したように、まず物事にはすべて ニ があるところから始まり、それを説明していくのが科学というわけだが、子どもの時の魔法での説明との違いは、実証可能であることである。C 別の表現をするなら「理性」に信頼を置くということである。

「理性」は、「感性」に對置される。そこで通常は、理性に基づく知である科学は感性とは無関係とされる。しかし私はそう考えてはいない。子どもの頃のふしぎとのつながりから話を始めたのは、自然を知ろうとするなら a だけではその像を適確に捉えることが難しく、どうしても b を必要とするところへ話を進めるつもりだからである。

大人になるにつれてふしぎさを楽しむのでは倦き足らず、理性に基づいて因果関係を知る科学に関心が向くと同じように、人間の歴史を見ても最初は解けなかったふしぎを因果で説明するようになっていく イ 加程が見られる。歴史の始まりには、ふしぎな力を考え、民話など物語を作っていた人類が、科学という知を生み出すようになる。それはなぜか西欧で起き、その始まりはコペルニクスの地動説に置かれる。人間の暮らす地球こそ世界の中心と考えてきたキリスト教社会の中で、一五四三年、コペルニクスが「天体の回転について」を表し、地動説を公表した。c に基づけば太陽を中心にしてその周囲を地球が動くというこの説の方が納得がいく。しかし、カトリック教会でこの説の禁止が解かれたのが一八三五年、三〇〇年間もの長きにわたって宗教が d による理解を認めなかったのである。

ところで、このようにして理性を基盤とする科学が描き出す世界像には、もう一つの性質が与えられ

ている。客観的であること、別の言葉を用いるなら価値観が入らない普遍性を持つということである。実はこれには問題がある。本論のテーマである感性は主観的であるわけで、(D)それと対極の性質を持つとされることになるからである。これでは、科学は感性とはつながりようもないとする他ない。(E)このような狭い見方に止めることは決して科学にとってプラスにならないだけでなく、それでは自然の理解にならないことがわかりつつある。科学には価値観がないという考え方の問題点を指摘している人としてマイケル・ポランニーをあげることができる。彼は、科学と言えども人間の営みである以上、まったくの無価値ではあり得ないとする。確かに天動説に対して、理性をはたらかせた地動説はより普遍性を持ちはするが、世界を観る眼はやはり人間のものであると言っているのである。科学の世界で暮らす者なら、日常の自分たちの(2)エィがまったくのマニユアル化の中で進められることなどなく、人間に属することを知っている。そして、人間には理性と共に感性があり、それが共にはたらいてこそ、知的な成果が得られるのだということもわかっている。成果に再現性は保証されなければならないが、科学研究の中で感性が働くことを否定する必要はない。

さらに言うなら、私たちは科学としての事実を認めたくて、E感性をはたらかせている。しかもそれは大切なことなのである。早い話が、今でも私たちは朝日が東から昇り、夕日は西に沈むと言う。私は今、京都と東京の二重生活をしており、京都の家からは東山から昇ってくる朝日が見える。こう簡(ま)タンに言ってしまうては正しくない。私は通常六時頃目覚めるので、夏はすでに陽が昇ってしまったっており、冬はまだ外は暗い。陽が昇るのが見えるのは春と秋である。とくに春は、それまでは暗かった朝が少しずつ明るくなってくる喜びがあり、この時の朝日は千金の価値がある。まさに【注1】「春は曙。やうやう白くなりゆく山際」なのである。古地図を調べたら、私の暮らすマンションがほぼ【注2】清涼殿の位置にあるというおまけまでつき、1000年という時を超えて同じ景(お)シキを眺める喜びを味わっている。一方東京では、富士山に沈む夕日が美しい。陽が落ちると共に夕焼けの空の中にくつきりと浮かび上がるシルエットの富士のみごとさは、いつ見ても感激する。この時の気持はまぎれもなくIVの中にある。地球が太陽のまわりをまわっているのだなどと理くつをこねていたら、この感激は消えてしまう。一方、理性による理解が感性によって消えてしまうことはない。

【注1】 清少納言による『枕草子』第一段

【注2】 平安時代に天皇が生活した場所

問一、傍線部(あ)～(お)のカタカナの部分と同じ漢字を使うものを、次の各群の1～4のうちから、それぞれ一つ選びなさい。

【あ：解答番号1、い：解答番号2、う：解答番号3、え：解答番号4、お：解答番号5】

- | | | | | |
|-----|--------|--------|--------|--------|
| (あ) | 1、キョウ育 | 2、キョウ味 | 3、キョウ界 | 4、キョウ小 |
| (い) | 1、カ保護 | 2、カ税 | 3、許力 | 4、力報 |
| (う) | 1、エイ転 | 2、エイ繕 | 3、エイ敏 | 4、エイ才 |
| (え) | 1、タン位 | 2、タン索 | 3、極タン | 4、タン慮 |
| (お) | 1、風呂シキ | 2、シキ彩 | 3、常シキ | 4、公シキ |

問二、空欄□に入ることばとして、次の1～4から選びなさい。

【解答番号6】

- 1、自由 2、認識 3、生存 4、幸福

問三、傍線部(A)「それ」とは何を指すか。もつとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号7】

- 1、科学 2、魔法 3、力学 4、浮力

問四、傍線部(B)「納得のいく世界ができ上がった」とあるが、その具体的な説明として、もつとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号8】

- 1、魔法使いが空を飛べるのは、浮力の存在があるからだと確信できた。
2、空を飛ぶ原理が数式により説明できると確信できた。
3、魔法のふしぎさを味わう純粋な心を失った方が、科学を理解できると確信できた。
4、鳥と飛行機は全く同じ仕組みで空を飛ぶことが、数式から確信できた。

問五、空欄□に入ることばとして、次の1～4から選びなさい。

【解答番号9】

- 1、原因 2、事象 3、科学 4、結果

問六、傍線部(C)「別の表現をする」と意味が近い語として、もつとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号10】

- 1、換言する 2、代言する 3、宣言する 4、代弁する

問七、傍線部(D)「それ」とは何を指すか。もつとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号11】

- 1、価値観 2、普遍性 3、感性 4、科学

問八、傍線部（E）「このような狭い見方」とあるが、具体的にどのような見方か。その説明として、適当ではないものを、次の1～4から選びなさい。 【解答番号12】

- 1、理性に基づく科学ではあるが、感性も共に働かせるべきであるという見方。
- 2、感性は自然の因果関係をつかむことにはつながっていないという見方。
- 3、理性に基づく科学には価値観は入っていないという見方。
- 4、感性は主観的であるので客観性を持たないという見方。

問九、空欄 に入ることばとしても適当なものを、次の1～4から選びなさい。 【解答番号13】

- 1、万が一の時は
- 2、苦境にたった時は
- 3、日常は
- 4、時おりは

問十、空欄 に入ることばとしても適当なものを、次の1～4から選びなさい。 【解答番号14】

- 1、価値観
- 2、普遍性
- 3、天動説
- 4、地動説

問十一、空欄 には、それぞれ「理性」または「感性」いずれかの語が入る。その組み合わせとしても適当なものを、次の1～4から選びなさい。 【解答番号15】

- | | | | | |
|----|------|------|------|------|
| 1、 | a 感性 | b 理性 | c 理性 | d 感性 |
| 2、 | a 理性 | b 感性 | c 感性 | d 理性 |
| 3、 | a 理性 | b 感性 | c 理性 | d 理性 |
| 4、 | a 感性 | b 理性 | c 感性 | d 感性 |

【解答番号16】

- 1、科学的な知的成果の真価を測定するのは科学自体では不可能なことであり、科学者の感性においてのみ可能であるという心理を謙虚に認識すべきである。
- 2、科学による普遍性の確定は理性のはたらきによって成し遂げられたのだが、そこでは世界を見つめる人間の生活人としての感性も豊かな知的成果をもたらすことに寄与している。
- 3、科学は新しい世界像を我々に見せてくれたのであり、それは世界を機械の機能性と因果関係の秩序性として提示し、人間に大いなる喜びをもたらしたのである。
- 4、理性は感性のはたらきと対立するものであり、感性のはたらきは人間が世界を理解し味わうために大切なものであるが、理性の深化とは連続していないのである。

二、17～21について、正しい読みを1～4から選びなさい

【解答番号17～21】

- | | | | | | |
|----|----|---------|---------|---------|--------|
| 17 | 由緒 | 1、ゆうしよ | 2、ゆしよ | 3、ゆいしよ | 4、ゆいちよ |
| 18 | 哀悼 | 1、あいちよう | 2、あいせき | 3、あいたく | 4、あいとう |
| 19 | 流転 | 1、るてん | 2、りゆうてん | 3、りゆうでん | 4、るでん |
| 20 | 和む | 1、なじむ | 2、やわらむ | 3、なごむ | 4、なぐさむ |
| 21 | 賄う | 1、うれう | 2、うかがう | 3、ひろう | 4、まかなう |

三、22～24の語について、対照的な意味を表す語（対義語）を、1～4から選びなさい。

【解答番号22～24】

- | | | | | | |
|----|-----|-------|-------|-------|-------|
| 22 | 軽率 | 1、嚴重 | 2、鈍重 | 3、慎重 | 4、重厚 |
| 23 | 受動的 | 1、反動的 | 2、能動的 | 3、他動的 | 4、自動的 |
| 24 | 愛護 | 1、放棄 | 2、虐待 | 3、防衛 | 4、保護 |

四、次の会話は、大学生の鈴木さんとその友人の酒井さんとのやりとりである。25～27に当てはまることばとしてもっとも適当なものを、それぞれ1～4から選びなさい。 【解答番号25～27】

【鈴木】 酒井さん、実は私、短編小説を書いたんだ。とはいっても、(25)だから、拙つたないと

ころばかりだと思っただけ……。よかったら、読んで感想を聞かせてもらえないかな。

【酒井】 いいよ。じゃあ、家に帰って、(26)読むことにするね。

【鈴木】 ありがとう。ぜひ(27)意見を聞かせてほしいな。

25 1、下手の考え休むに似たり

2、好きこそ物の上手なれ

3、下手の横好き

4、下手な鉄砲も数撃ちや当たる

26 1、目を光らせて

2、腰を据えて

3、手をこまぬいて

4、足を洗って

27 1、歯が浮いた

2、歯に衣着せない

3、奥歯に物を挟んだ

4、口を酸っぱくした